

ようこそ <母語1, 2, 3>

外国につながるお子さんの保護者のみなさまへ

母語、みなさんのルーツの国の言葉の大切さ

外国につながる子どもたちは母語を学ぶことで学校の勉強や日本語もできるようになるといわれています。とくに小学校入学前に母語がしっかり身に付いていれば、日本語環境の学校に来て学校言語をスムーズに修得する事ができます。なぜなら、語彙などを置き換えることで概念を理解できるからです。

そのほか、母語を学んだ子どもは、、、

- ⇒親子のコミュニケーションが豊かになります。
- ⇒自分に自信を持ち、アイデンティティが確立します。
- ⇒祖国の親戚や世界中で暮らす母語を使う人々とのつながりが持てます。
- ⇒お子さんの進路選択の道が広がります。



皆さんの持つ「財産」である母語を子どもたちとともに守り育てましょう。

母語を育むにはどうしたらいいでしょうか

1 絵本を読みましょう

母語の絵本を1日20分でいいのでお子さんに読み聞かせましょう。

参考:母語絵本ダウンロードサイト <http://www.hyogo-ip.or.jp/mtss/bogo/>



2 母語で話しかけましょう。母語の映画やドラマを見せましょう

いろいろな場面で機会をとらえてお子さんに母語で話しかけましょう。YOUTUBE や DVD など、母語がつかわれている子ども向けの動画・番組を子どもたちに見せましょう。

3 お子さんを母語教室に参加させましょう

地域にある母語教室にぜひお子さんを参加させましょう。母語教室にお子さんが参加したら宿題を見てあげたり、母語教室で何を勉強したか家族で話題にし、お子さんの母語学習を家族の関心事にしましょう。



詳しくはホームページで！「多文化な子どもの学び ～母語を育む活動から」

<http://education-motherlanguage.weebly.com/>